

■九州発－素晴らしきコンクリートを目指して －コンクリートセミナーin福岡

2月5日、セメント協会は博多都ホテル(福岡市博多区)で第304回コンクリートセミナーを開催した。当日は、福岡県内および九州・中国各県ほかの官公庁・建設業・生コン・コンサルタントなど満員の213名が参集した。

テーマは「多様化するニーズとコンクリートのソリューション－耐久性向上, 維持管理の合理化, リサイクルの技術展開－」で講師陣は表のとおり。

主な内容は、①では国土交通省が策定した国土のグランドデザイン2050の概要として、これから目指す日本の国土開発のあり方と、国土強靱化を踏まえた九州版コンクリート基準の内容と動向に関する具体的な実施対策方法のポイントを解説。②では、九州地区の若手研究者によるコンクリート技術の最新研究成果を綴った、単行本「素晴らしきコンクリート」(2014年3月発行)の概要に加え、九州地方整備局が制定した「土木コンクリート構造物設計・施工指針(案)」を紹介するとともに道路橋示方書やコンクリート標準示方書との整合性などを解説。③では長崎県の軍艦島にある日本最古のRC住宅の劣化調査を通じて得た知見の紹介とともに、今後のRC構造物の維持管理技術のあり方を解説。④では、これまでのコンクリート標準示方書の維持管理に関する改定変遷を時系列的に振り返った。その後耐久性向上のために、長年取り組んできた各種の研究・技術開発のポイントを解説、今後の課題としてこれまで培った「本質を見抜く能力」を自身でどこまで維持管理できるかが重要と語った。⑤では、今後も危惧される大規模自然災害時に多量に発生することが予想されるがれき(災害廃棄物)の処理と利活用について、東北地方で実施された事例で紹介、あわせて今後発生が想定される南海トラフ地震などでのがれき処理への対応や広域連携の重要性を訴えた。

以上の講演に加え午後一番には、日本のコンク



平井氏



濱田氏



渡邊氏



今本氏



武若氏



久田氏



リート工学の発展を長年、学識者の立場で先導されてきた九州の重鎮、渡邊明先生による特別講演が行われた。氏の幅広く、深い経験と洞察力を視点にコンクリートに限らず人や技術の“本質とは何か”をユーモアとウイット、若かりし頃の写真やエピソードに織り交ぜて語りかけた。聴く者を魅了する渡邊節での「技術者は固定観念や既成事実にとらわれてはいけない。そうでなければ本当の新しい技術は生まれてこない」といった言葉が多くの聴講者の技術者の心に深く響いていたようだ。

なお、当日のテキストは一部2000円+税(送料別)で当協会の図書販売(☎03-5200-5062)で販売中。

タイトル	所属	氏名(敬称略)
①九州地方整備局をめぐる最近の話題－グランドデザイン2050策定を踏まえて－	国土交通省九州地方整備局企画部長	平井秀輝
②九州発“素晴らしきコンクリートの開発・コンクリート構造物の長寿命化へ向けたその一歩”	九州大学工学研究院教授	濱田秀則
[特別講演] 思い出のコマゴマ・散策	九州工業大学名誉教授	渡邊 明
③日本最古のRC集合住宅が語るもの－軍艦島の耐久性調査から見る海水練りの可能性－	東京理科大学教授	今本啓一
④コンクリート構造物の耐久性向上のための各種の取組みとそこから見えてきたもの	鹿児島大学大学院教授	武若耕司
⑤震災から4年－わが街が震災に襲われたら? がれき処理と広域連携－	東北大学大学院教授	久田 真